

# ぴあの【Piano】



先端の工業品であり、繊細な工芸品でもある 掛川市音域がとても広いことなどから「楽器の王様」といわれるピアノ。楽器づくりが盛んな遠州地方は、ピアノの一大生産地であり、中でも長く使い続けられる質の高いピアノを100年以上にわたって作り続けているのが「ヤマハ株式会社」だ。1887(明治20)年、山葉寅楠が浜松でオルガンを修理したのを機に創業。当時、遠州には天竜川を利用して、ピアノづくりに欠かせない木材が豊富に運び込まれ、加工技術が蓄積された。木綿など織物産業が盛んで多くの機械工がいたことも、静岡にピアノづくりを根付かせる一助となった。工業製品であり、人の感性に訴える芸術品でもあるピアノは、手作業による微妙な調整を繰り返すことで初めて完成する。生産工程の一つ「整調」では、鍵盤の動きをハンマーに伝えて正確に弦を打つようにするため、鍵盤とそれと連動する機構だけで約1,700ヵ所の調整を行う。ピアノに命を吹き込む「整音」の工程でも、職人が五感を研ぎ澄まして理想の音をつくる。こうした生産



工程は、ヤマハピアノのマザー工場、掛川工場で見学できるが、その繊細でていねいなつくり込みに感動を覚えずにはいられない。



グランドピアノ工場見学は驚きと発見がいっぱい  
ヤマハ掛川工場 ハーモニープラザ

Note

〒436-0038 静岡県掛川市領家1480 ☎0537-24-8069

見学実施日/原則月曜・水曜・金曜日の10:00～、13:30～(祝日、年末年始、GW、夏期休暇等を除く)

定員/1回40名まで 入場/無料・予約制 [http://www.yamaha.co.jp/about/corporate/factory\\_tour/](http://www.yamaha.co.jp/about/corporate/factory_tour/)



新東名 森掛川ICより約15分 / 東名高速 袋井ICまたは掛川ICよりそれぞれ約20分

グランドピアノの組立工程を生産ラインの周辺で見ることが出来る。独自に開発した設備と、熟練の職人技を駆使したピアノづくりは驚きと発見に満ちている。工場見学はとても人気があるので、早めに予約するのがおすすめ。



ピアノをモチーフにした建物にも注目

NEOPASA 浜松(上り) ミュージックスポット

Note

〒434-0005 静岡県浜松市浜北区大平36 新東名 NEOPASA浜松(上り)

<http://www.c-nexco.co.jp/sapa/> ☎053-580-1360(サービスエリア・コンシェルジュ)



新東名 NEOPASA浜松(上り) ※一般道から訪れる場合は、ぶらっとパークが便利



新東名 NEOPASA浜松(上り)のミュージックスポットでは、ヤマハの自動演奏ピアノと映像を使ったバーチャルコンサートが楽しめる。土・日・祝日限定で、映像と音楽を用いた、清水ミチコさんによる絵本の読み聞かせコンテンツもあるので、家族ドライブの立ち寄りスポットとしてもおすすめです。

